

8月27日(日)第二礼拝「神様の栄光の雲」 出エジプト40章34-38節

神様の栄光の雲とは、神様が人間の前でご自分を現している時、人間が見て聞いて感じることでできる聖さや愛であり、神様の臨在です。神様の栄光を表すために、神様は私達を選ばれました。そして、それを体験した人は生活全般変えられていきます。

第一番目、本文34節「そのとき」とは、幕屋が完成した時であり、栄光の雲が幕屋に満ちました。旧約では栄光の雲でしたが、新約では栄光そのものである方、イエス様が人間となって私達と共に住んでくださいました。神様の栄光がイエス様を通して現わされたのです。ヨハネ 2:19-21 イエス様ご自身を神殿だと言われました。神殿は会見の天幕であり、その目的は、私達の罪が赦され、神様と出会うことにあります。I コリント 3:16 イエス様を信じる私達もまた神の神殿であり、神の御霊が宿ってくださいます。

第二番目、祈りを通して、私達の中に神殿(幕屋)が建てられます。幕屋の祭壇はイエス様の十字架です。羊や牛を連れて来て、自分の罪を告白し、それらに按手すると、その罪は全て羊や牛に移されます。それらはほふられ、血を流され、祭壇の上で灰になるまで燃やされます。イザヤ 53:5 「彼は、私達のそむきの罪のために刺し通され、私達の咎のために砕かれた。…」祭壇では、イエス様の十字架により、私達の罪が贖われたことを感謝し祈るのです。しかし、罪の性質が私達の中に残っています。それは、パン種、善悪の知識の木の実、御言葉と反する私達の思い、蜂蜜(情欲、肉の欲等)です。洗盤は悔い改めであり、私達の中のパン種や蜂蜜を洗うのです。I ヨハネ 1:9 「私達が自分の罪を言い表すなら...その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。」備えのパンとは、イエス様の御言葉です。イエス様の御言葉は、律法の完成です。イエス様は神を愛し、隣人を愛し、また、神様がきよいように、私達もきよくあるようにと言われました。しかし、私達の中には愛もきよさもないので、香の壇の祈りが必要なのです。「主よ、私に愛と憐れむ心、きよい心を与えてください。」と祈るのです。金の燭台である聖霊様が私達に愛と憐み、きよさを注いでくださるので、神と人を愛することができ、私達をきよめてくださるので。そして、主は私達を至聖所に導いてくださいます。契約の箱のふたは贖いのふた(憐みのふた)です。私達はただ恵みによって憐みの御座に進んでいきます。聖霊様により心がきよめられ、神を見ることができ、そこで神様の御声を聞くのです。レビ 16:4 亜麻布とは恵みを意味します。私達は聖霊の恵みとイエス様の血潮の恵みによって聖所・至聖所に入っていくのです。

第三番目、神様が導かれます。荒野でイスラエルの民は雲の柱、火の柱が上ったら旅立ちました。しかし、思うようにいかないで、彼らは神様の導きに不平を言いました。この雲の柱、火の柱は御霊によって私達の中にもおられ、感動を与えてくださいます。主に従順するなら祝福されます。申命記 8:14-18 荒野の訓練を通して、私達は神様の御言葉に従う時に祝福されることを体験し、結果、神様は私達を幸せにしてくださいます。自分の思いとは違っても、従順して得られる祝福は、富を築き上げる力となります(ルカ 6:38)。アーメン！